

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2007年11月16日 No.14

12・4
行動

100万羽の折り鶴で厚労省包囲を!

12月4日、25万羽の折り鶴を持って、**青年・25万羽折り鶴プロジェクトに反響ひろがる**厚労省包囲行動に参加しよう...。「世界青年のつどい」のよびかけが、反響をひろげています。日本原水協に問い合わせや、激励など、あいつぎ電話がかかっています。東京・大田区南馬込に在住の水野さん(62歳)は、「新聞を見て主旨に感動した。自分は、反核平和を願い、こつこつと23歳のときから折り鶴を折っている」とのべ、折った千羽鶴は、「毎年世界大会への参加者に託し広島・長崎に持って行ってもらっている」とのこと。今回の12・4行動には、「被爆者に思いを寄せて、2束の千羽鶴を持って何としても厚労省包囲に参加したい」と語っていました。北九州の年輩の女性からは、「この行動は大変いいこと。毎日鶴を折っているが、11月末なら200羽くらいは送ることができる。ぜひ成功させて」と激励の電話をいただきました。広範な人々に期待にこたえる運動にしましょう!

政府はいつまで被爆者を苦しめ続けるのか。たたかひの大きな山場となる12・4東京大行動を全国の力で成功させましょう。

日本原水協 中央団体への申し入れさらに

日本原水協は緊急100万人署名、12・4行動、被爆者援護連帯2000万円募金について引き続き加盟中央団体への申し入れを行っています。

大会成功を力に諸活動の前進へ

新日本婦人の会 14日には、高草木事務局長らが新婦人中央本部の米山新事務局長を訪問し、要請しました。1万5千人の新しい会員を迎える各地の創意ある取り組みと、前回大会から前進し、上げ潮の中で開かれた全国大会の熱気をうかがいました。全国大会参加者の資料袋には、緊急署名用紙が同封されたとのこと。要請当日、改めて都道府県本部に要請文書がチラシ、募金袋、シールなどともに全国に送られました。この要請書には、緊急100万人署名の構成員と家族署名、12・4集会への参加と行動成功のための11・24宣伝・署名行動、さらに地域での行動のよびかけ、募金袋とちひろシールを活用した被爆者援護・連帯募金への協力などが訴えられています。

全国保団連は、各県の保険医協会に連絡し、希望のあった県に計5万枚の署名用紙を下ろして11月末までに全国保団連本部に署名を集約する、被爆者募金については、事務局内に募金袋を回す、シールは、各県の保険医協会に県原水協から申し入れ・相談してほしい。

生協労連は、鈴木副委員長が対応。一度全国に下ろしたが再度要請するようになりたい。青年のプロジェクトも知らせるようになる。募金については、シール、募金袋を各組織に下ろすので各200送ってほしい。

新聞労連は、木部智明書記長が対応。署名では、地本レベルにも通達を出す、12・4行動では、広島・長崎の新聞に案内する、募金では、紙の募金箱を受付において取り組む。

自由法曹団は、緊急署名と要請文書、カラーチラシ、募金袋をセットにして60部送ってもらえれば、17日に常任幹事会が開かれるので、地方の人に渡す、物販ブースに募金箱を設置する。

これらの他、全教・日高教、母親連絡会、医療生協などでも積極的に対応するとこたえてくれました。

緊急100万人署名
熊本原告 署名の先頭に!

熊本原告の井上保さん(77歳)は、認定制度を改めさせるには多くの署名が必要と、さまざまな機会をつくっています。11月3日には田原坂ウオーケラリに被団協のゼッケンをつけて参加し、150筆の署名を集めました。また、熊本城400年祭の会場などすでに300筆以上の署名を集めており、熊本被団協の中山事務局長も「見習いたい」と言っています。